

平成27年度小鹿野町総合教育会議会議録

開催日時 平成27年6月25日(木) 午後1時30分
開催場所 両神ふるさと総合会館 1階 研修室A
開会時刻 午後1時37分
閉会時刻 午後2時40分

出欠席状況

町長	福島弘文	出席
教育長	中紀雄	出席
教育委員	齊藤榮一	出席
	高橋美正	出席
	朝比奈玲子	出席
	小池恭一	出席

その他会議に出席した者

学校教育課長	高橋俊行
総務課長	黒澤博文
総務課主幹	新井昇

傍聴者 なし

会議録署名 中紀雄

日程

日程第1 会議録署名委員の指名
日程第2 議事
(1) 教育に関する大綱の策定について
(2) 小鹿野町の教育方針について
(3) その他

閉会

会議開会前に会議の趣旨説明
黒澤総務課長より説明

会議の進行状況及び顛末

開会 午後1時37分

町長 あいさつ後、全員の出席を確認し、平成27年度小鹿野町総合教育会議の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名

町長 会議録署名委員については、中紀雄教育長を指名いたします。

日程第2 議事

町長

次に日程第2、議事に移ります。始めに(1)教育に関する大綱の策定についてを議題とします。

事務局より説明をお願いします。

「はいの声あり」

教育長

それでは、説明させていただきます。

今年から地教行法が改正され、町長が総合的な教育の施策等についての大綱を定めるということが地教行法の改正により義務付けられたところでもあります。

私ども、地方行政団体として教育振興基本計画を定めさせていただきました。その施策の中で、目標や施策の根源となる方針が、もし、大綱として該当する場合には、大綱として位置づけることが法的に可能となっております。教育基本法第17条第2項に基づき、教育振興基本計画を策定してきて、平成27年度から30年度までの4年間を見据えた教育振興基本計画を策定しております。この教育振興基本計画を大綱に代えることとしていただければということで、そんな考えであります。そのことを踏まえて、これから教育振興基本計画の基本方針について説明をさせていただきます。

手元にあります資料の3ページの現状についてから触れさせていただきます。3ページに現状というのがありますが、この中で、特に小鹿野町の下から山間地の多い本町のところがあります。山間地の多い本町の少子化は急速に進行しており、地域・家庭・学校が力を結集して子供たちの育成に努め、地域のよさや協働の喜びを感得するとともに、多様な見方・考え方や価値観にふれる体験を積み、夢と希望と勇気を育んでいくことが必要です。そのためには、学校教育を支える基盤としての町民全体の生涯学習体制を整備し、学びの機会を提供するとともに地域活動やスポーツ振興を図るなど、町民の活力を高めることが大切です。ということで、教育でできることを述べさせていただいたところでもあります。学校教育・社会教育で町民の活力を高めていきたいところです。

そこで、4ページに入らせていただきまして、小鹿野町教育行政の基本方針として、1の基本理念及び基本目標ですが、未来を拓く夢と希望と勇気を育む小鹿野教育を基本理念と定めさせていただきました。基本目標は、ふるさとの明日を担う心豊かな人づくりということで挙げさせていただきまして、その内容について、その下に書いてあります、町づくりは人づくりという信念の基に未来を拓く・明日を担う町づくりをしたいという教育の活気ある町づくりの一端を教育分野として果たしていきたいと思っているところでもあります。

2の基本方針は、学校教育と社会教育の2つに分かれますので、5ページのところの(1)学校教育に関する基本方針として挙げさせていただいたのが、読み上げますが、先にも述べたとおり、町の将来を支える基盤としての子供たちの育成人づくりに向けた学校教育の充実喫緊の課題であり、永遠の課題でもあります。町の基本理念・基本目標の実現に向けて、具体的な子供の将来像として、確かな人間力の育成を掲げ、地域に根ざし、地域を拓き、地域から未来を担う人材の育

成に向けた、教育改革を志向する教育行政を積極的に推進していきたいと考えます。学校教育は確かな人間力の育成を目指して、教育改革を進めていきたいということを教育委員会として考えております。

四角の枠の具体的な学校教育の求める将来像について説明をさせていただきます。目指す子供像は、確かな人間力を身につけた子供ということでもあります。この人間力とは何かということになる訳ですが、人間力とは4番にその説明を書かせていただきました。人間力とは、人間力に関する確定された定義はないが、ここでは地域社会に積極的に参加し、周囲と協調しながら社会的貢献を果たすとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力ととらえることとする。その実現に向けて、小鹿野町の学校で学ぶすべての子供たちに①確かな学力を付けたい。②社会性を付けたい。③夢に向かう活力。④心身の健康を総合して育むことによって人間力をつけたいということで人間力の意味を説明させていただきました。ですから健康から学力まで総合的に人間力は幅広くなります。町長の公約でもある学力と人間力をここに活かさせていただきました。

目指す学校像は、将来の夢に向かう活力として未来に向かう志をもってもらおう。夢と志を育む学校にしたい。それから、教育委員会の責務として、未来に向かっていく総合的な人間力をつけるためには、質の高い教育の提供をしたい。質の高い教育を出来る学校づくりをしたい。そして、3番目としては、地域の人により、地域の信頼に基づく安全で安心した学校を創りたい。こういう3点を目指す学校像にさせていただきました。

具体的に、人間力を高めるためにどういうことをしていくのかについては、一つは、確かな学力の育成を目指していきたい。確かな学力の育成についての基本方針について説明させていただき、施策は、7ページ以降に書いてありますので、今日は基本方針を重点的に説明させていただきます。

2番目、自立心がなければならないだろうということから、周囲と協調できる社会性の育成ということの基本としております。自らの力で切り拓いて社会の中で役割を果たせる人間を創りたいということが2番目の話であります。

3番目は、これからは、グローバルな視点に立って夢の実現に向かう活力を育てなければならないということで、英語とICT、ふるさと学習の3つを基本としてグローバルな視点を創っていきたい。ふるさと学習も重要なものでありますし、英語の学力、コミュニケーション能力を高めていきたいということで、今年、夢として英検3級を4割、国は7割といっていますが、小鹿野町の現状は2割に達しておりませんので、4割達成できる子供たちを創りたいので進めております。

4番目として、豊かな人間性と健やかな体の育成ということでもあります。特に子供たちの現状は、生活習慣などが大変に崩れているという現状があります。そういうところから、家庭と力を合わせて、今年、家庭にメスを入れるというのは、大変失礼な言い方ですが、家庭教育とも連携を図って豊かな人間性・健やかな体の育成を創っていきたいということで、後で重点のところでは話させていただきます。

最後に、町長に大変お世話になっている学校の再編整備、グランドデザインの推進ということでありまして、おかげさまで小鹿野中学校

が統合校、幼稚園の統合、そして教育施設の整備として大規模改修を進めているところであります。この基本方針の5番目は、大変に町の予算等の配慮をいただきまして、町長の力をいただきまして確実に進めさせていただいております。学校教育の基本方針については、以上とさせていただきます。

続いて6ページに移らせていただきますが、6ページは社会教育に関する基本方針として挙げさせていただきました。皆さんご存知のように大変、議会でも生涯学習の視点に立って、多くの幼児から高齢者までの教育の見直しということが議会でも要望されております。この流れの中で小鹿野文化センターと公民館と図書館と、こういう施設を中心に社会教育を高めていきたい。というような現状で、やはり社会教育ビジョン、教育振興計画を全部、社会教育も同一に見直しを図って挙げさせていただきました。その社会教育の将来像の目指す町民像ということで挙げさせていただいたのが、黄色の部分であります。一人一人が生涯にわたって主体的に学び続け必要な力を養い、互いに支え合い高め合う町民ということで入れさせていただきました。そして、この流れの中に基本方針として、入れさせていただいたのが、一つ、ライフステージにあわせた学習機会の提供と支援ということで、ライフスタイルにという点で最近では学習ニーズも大変に多様化しております。公民館活動や文化センター等の活動については、大変に地域の町民の要望に応えた学習を行っております。こういう学習機会の提供に努力をしていきたい。町民が喜び、また、励みそして楽しさを実感できたらいいなと思っています。

2番目に生涯学習推進体制の整備と促進と、これもやはりニーズに合った学習という点で、なるべく町民に知らせて、そして、更にどこでもいつでもという議会でも出ましたけれども、学べるような形を取れるように、今、整備を図り更に今の現状を更に拡大・充実を図っていきたいと考えているところであります。

それから、3番目は、町民の場合においては、健康づくりとスポーツということで、教育委員会のみならず福祉課とか当然ながら保健課と連携を図りながら町民が気軽に参加できるスポーツやレクリエーションなど、それらを設置して提供していきたいと考えております。

次に、4番目、これは、小鹿野町にとって歌舞伎を中心とする文化芸術の振興と伝統文化の継承ということになる訳ですが、いずれにしても小鹿野町の小学生中学生にとっても心の教育の一番の中心になるのは、地域文化であると私は思っています。こういう点から考えますと文化芸術の振興というのは、町の活性化には欠かせないものと考えております。社会教育課が中心となってこれらを進めさせていただきます。

次に、⑤ですが図書館機能の充実と読書活動の推進と、社会教育の中で新しく言うっては大変失礼な言い方になるかもしれませんが、私、教育長としては、図書館機能をもっと充実させたいということから、この基本方針の⑤に位置付けをさせていただきました。やはり、図書館機能が町民に与える、特に多様なニーズに応えるという点では、図書館の役割は大きいものと思います。町長の計らいで図書館にも職員の補充をしていただくなど、そういう意味から考えて、今、大きく図書館が動きだし、今年、子供の読書推進計画・運営計画をパブリック

コメントさせていただきました。こんな視点から秩父市に負けない、他市町村に負けない新たな計画が出来上がりました。これからどのように着実にやっていくかが、今後大きな課題となってきます。こんな状況から図書館の利用を今後進めさせていただきたいと。以上、社会教育の基本方針、そして、学校教育の件、施策その他は資料を見ていただくことで、以上で説明とさせていただきます。

町 長

それでは、説明が終わりました。

ただ今、小鹿野町教育振興基本計画に示してあります小鹿野町教育行政の基本方針について説明がありましたが、質問があればお伺いしたいと思います。

質問がありますでしょうか。

質問がないようですので、お諮りいたします。小鹿野町における教育に関する大綱の策定については、説明がありました小鹿野町教育振興基本計画をもって大綱に代えるということによろしいでしょうか。

「異議なしの声あり」

町 長

皆様のご賛同をいただきましたので、大綱については、小鹿野町教育振興基本計画をもって大綱に代えることに決定させていただきます。

町 長

次に(2)小鹿野町の教育方針についてを議題とします。事務局で説明をお願いします。

「はいの声あり」

教育長

先ほど説明させていただいたのが4年間の計画で、平成27年度、特にこの基本計画を基にこの1年間進めていきたい内容として、重点施策を説明させていただきます。手元にある資料を見ていただきたいと思います。

基本理念・基本目標は説明を省略させていただきます。

本年度の重点内容として、5つ挙げさせていただきました。本年度の重点施策につきましても、それぞれ次のページに細かい施策が書いてあります。施策まで説明しますと時間が長くなりますので、1ページの本年度の重点、1番の確かな学力と自立する力の育成で何を教育長は重点的にやるのかということで、全てお話したいのですが、その中で、小鹿野町特有なものを説明させていただきますと、学力や自立する力は小6年、中3年でやるという各単位では難しいということから、小学校から中学校までの一環教育として共通でしっかりと小学校から中学校まで繋げる。たとえば学習規律、生活規律、小学校で中学校での段階を踏んでしっかりと踏まえて、また、共通したものを同じに進めていくというような計画を立てております。学力の面でも中・小の教員が交互に各学校へ行ってお互いに理解をするというような形で進めています。

続いて2番の豊かな人間性と健やかな体づくりの一番のメインは、自他の命と心を大切にす教育の推進を進めたい。特に、学校で最近、子供同士、命というものに対して、形骸的な気持ち、そして、いじめ、人間関係が大変喪失している状態から考えて、やはり豊かな人間性は命を大切にしていかなければならない。相手を思いやる気持ち、では、具体的にというのは、そこに載っておりますので見ていただきたいと思いますが、この中で(1)あるいは(2)のいじめその他あります。

町長のほうで進めている2番の(4)あえてここだけ触れさせていただけますが、子供たちの豊かな人間性と健やかな体づくりの中に、(4)のアとして給食センターの機能を生かした食の安全確保というのを組み合わせていただいております。これは安全・安心という意味合いも大事なのですが、やはり給食センターでの健やかな体づくりという視点から考えても、今まさに朝、食べない子供たちの状態を考えますと、今後造る新給食センターの機能という点では、食の安全確保をとると同時に、子供たちに対応できた食をつくっていききたいというこのようなことも新給食センターの大きな課題として考えています。

3番目として、どうしてもやらなくてはならないのが家庭の教育力の向上であります。学力検査等全て家庭の教育力の今の現状がデータで出ていまして、残念ながらテレビ・ゲーム・スマートフォン等の利用率の高い現状と、なかなか子供たちが家庭での人間関係そしていろいろな家庭の問題が事実起きております。私たちは、小鹿野家庭教育宣言を策定しまして、今、家庭教育宣言は着実にPTA連合会、PTAまでに浸透して各家庭で家庭教育宣言をつくる。その中に学習や生活規律それらを見直していただくということで今、現在進めております。

続いて4番目、これは、町長が熟知しているグランドデザインに基づく教育環境の整備・充実ということで中学校の統合の残り1年はもうありません。28年4月に向けて統合がスムーズに効率よく来年スタートが切れるように今、教育委員会・学校・保護者全部が一致団結して進めさせていただいております。やっこの夏休みには備品の移動からですね高橋課長が中心となっていよいよ目につかない部分もありますがそれらも含めて進めていきます。と同時に武道場・給食センターの建設、そして、社会教育の町民の新武道場ということで今、グランドデザインを進めているわけですが、今後、このグランドデザインを先のグランドデザインがどうあるべきかというので教育委員会内部で検討して、町長に後に、今後のグランドデザインをどうするかということで指導もいただきたいと考えています。こういったことが今年の主な重点施策になります。

以上で説明を終わります。

町長

説明が終わりました。

ただ今、小鹿野町の教育方針について説明がありましたが、質問がありましたらお伺いしたいと思います。

事務局は今の説明でよろしいですか。補足はないですか？

高橋課長

いま、教育長から説明のあった施設、グランドデザインの関係で、

町民武道場、給食センターそして中学校の武道場については、発注に向けて準備を進めております。給食センターについては来年の完成に向けて、工事のほうは発注してありますが、今後、運営をどうするかということが出てきます。これについても、今年度中にある程度方針を決めて、28年度には具体的に進めることとなります。給食の調理の方法が、食品衛生法、学校給食法等が変更になった関係で、大きく変更になったのが今は、ウェット方式で下がコンクリートで水を使って洗浄したものをそのまま流すという状況で、中に排水溝等があるということですのでけれども、基本的にそれが出来なくなるということで、ドライ方式という形で水を流さない方式に変わります。これについては細菌の発生を抑えたりすることが根底にあります。運営に関しては来週、分からない部分もあるので、実際に給食センターで食事を作って学校に配送して学校の中で配膳してというようなものを、実際に見てこようというふうに予定しております。そういった中で小鹿野町としてどういう方法がいいかということを検討して、また、教育委員さん等にお聞きしながら進めていきたいと思っております。課題になっているのは、給食センターを造るだけでなくって配送のほうをどうするか。それから学校に持っていった時に、昔は自分たちの時代は子供たちが持ちに行き行ってやっていたけれども、今は、そうじゃなくて配膳室から教室まで持っていくというようなことになっておりますのでこれらを一括して業者に委託するのがいいのか、地元業者を使える部分があればそれを地元業者にお願いするのがいいのか、そういうことを含めて色々な検討を今年度中に進めて、来年度、安全・安心な給食を子供たちに提供していきたいと進めております。

中学校の武道場については、今、収蔵庫の建っているところ、収蔵庫の取壊しをするということで、先日、入札があり岩田組さんのほうで落札いただいて、工事が始まります。9月30日が工期ということで進めています。これに合わせて新しい武道場を建設するわけですが、これについても提案方式の入札を行うことで進めているところです。これについては今年度中に完成ということで来年4月の統合時には完成し中学校統合に向けての環境整備を確実に進めております。

町民武道場については、一般競争入札ということで告示等したという状況であります。

ランドデザインに基づいて学校施設等の整備等については着実に進めておりますが、社会教育施設等の関係がまだ残っておりますが、皆さんいろいろな方の意見を踏まえながら修正できるものは修正すること、その検討を教育委員会の事務局内部で進めております。教育委員さんの意見・町長の意見をお伺いしながら進めていきたいと考えております。

あと、中学校の関係で空校舎の利用をどうするかということも一つの課題になっております。地域の団体等の要望もあります。そういうことを踏まえながら有効活用できるものは有効活用するような形で、地域コミュニティの一つの核というものを今まで中学校が担ってきたものですので、そういったことを見据えながら今後、検討していきたいと思っております。ランドデザインについての説明は以上です。

教育長

先ほどの説明で、説明できなかったことがありますので説明をさせ

ていただきたいのですが。

町 長 それではお願いします。

教育長 5番の伝統文化の継承と生涯にわたる学びの支援ということで、感動と活力あるスポーツの推進。スポーツの推進という点では、日頃から体育協会や文化団体等の協力をいただきながら進めているわけですが、特に(5)に健康教育と心豊かな人づくりを目指す生涯スポーツ活動の推進ということで、その中のエということで健康運動教室の開催、保健課と連携と、このへんを社会教育課が連携を図りながらということで、あとウとかは町長もよくご存知のようにスポーツ活動団体の活動の支援とかになるわけですが、いずれにしても伝統文化の継承と生涯にわたる学びの支援という点でも、これらの内容を重点的に進めていきたいと思っております。

町 長 ただ今、教育長から説明がありました。課長からもグランドデザインで進めている色々な状況について説明がありました。説明のとおり武道場、給食センター、中学校の武道場について、これから入札になるわけですが、制限付一般競争入札で公募しております。こういう時勢ですから入札で落ちてもらわないと何も出来ないわけで、何年か前でしたら入札に出すと大体落ちるということでしたが、今は、本当に分からない面がありますから、今の予算で執行が出来ればいいなと思っております。

そういう中ではありますが、みなさんにご迷惑をかけて色々を進めさせていただいておりますが、過日の、小学校の体育館がオープンになりましたが、耐震診断の結果の耐震補強が100パーセントということになったかなということでもあります。ただし、社会教育施設はそこまでいってないのですが、義務教育の学校施設については、そういうことでもあります。

何か、27年度小鹿野町教育行政重点施策について、ご質問がありましたらお願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

「はいの声あり」

町 長 小池委員さん

小池委員 家には小学校2年生の娘がいるんですけども、先日、小鹿野小学校の体育館がオープンしたということで、町長さん教育長さんも行かれて、私も一緒に参加させていただきました。そういう中で使い勝手について聞いてみたところ、多くの子供たちが非常に広いと、体育館がきれいだと。プールも先日から入っているのですけれども、前みたいパイプが回ってないので、非常にきれいで広くて、プールに入っていて気持ちいいという声が多いようです。それが、体育館とプールの子供たちの正直な感想らしいです。

また、給食センターの話が出ましたが、私なんかも、給食センターにほぼ行く機会はないです。前回、北部の給食センターを吉田にあるのを見に行きましたが、また、来月になりますか、視察が入っている

というところで、やはり、そういった所を視察しながら自分の目で見て、今後の給食センターの整備などいろんなところで参考にして、定例会等々で提案できたらいいなと思っています。

それともう一つ、中学校の武道場も出来るということで、今、柔道剣道のいずれか一つ必須になっておりますし、部活動も中学校の敷地内でやるのが一番、安心・安全な面からも大事だと思います。そういった中で、できれば、前にも町長さんをお願いしてあったと思うのですが、部活をやる上で部室というのが、今、着替える場所が音楽室の所とか、体育館の所とかということで、部によっては物を置くスペース等も必要になってくるかと思えます。子供が少なくなっても教室は狭いですから、その辺のところもご検討いただいて、予算に関わることで、部室等とか用具入れとか、出来ればもっと使い勝手がいいかなと思っています。

よろしく申し上げます。以上です。

町 長

ありがとうございます。

体育館については、今までが狭かったので、すごく広いなと感じました。20年くらい前から狭くて狭くてと言われていた体育館ですから、やっと出来たという感じです。あの時までは、議会等にも木質化を認めてもらって非常に気持ちいい体育館です。

これからのものは、費用を削減しようということですから、武道場についても私にするとちょっと不満かなというような感じですが、やっと念願の小鹿野小学校のプールと体育館が完成し、皆さん方のおかげかなと思っています。

また、給食センターですけれども、給食センターが出来上がったら議会の何人かの議員からも要望がありましたけれども、給食費の無料という話がありました。そういう中で、地方創生の交付金に入れていただいて、この4月から第1子も無料ということで今、進めております。給食費は無料で、教材費についても全額ではないですけれども補助しております。

これからはやはり、今までも当然、子育て支援を行っていたわけですが、今まで以上に子育て支援に力を入れていきたいと思っています。というのはやっぱり、教育長にもよく言っていますが、ここ何年か年間60人くらいしか子供さんが生まれられない状況ですから、これからは、もっともっと今まで以上に大事に育てていかなければならないのかなと思いますので、皆さん方にも是非お力添えを賜ればありがたいなと思います。

中学校に造る武道場には、更衣室もあるはずですが、ですけれども、たしかに外で行うスポーツですか、そういう人たちの更衣室は、事務局から挙がってこなかったもので、そこまで気がつかなかったのですが、今後、事務局と相談しながら、また、必要なものはやっていきたいなと思います。

また、統合前に自転車通学とかでやらなくてはならないこともありますし、この前は、LED化に全部しようということで、もう発注しましたし、着々と来年の4月1日に向かって準備をしているのが現状ですけれども、更衣室については、今まで出ていなかったものですから、よく事務局と相談していただきたいなと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。このほか、皆さんから何かご意見ございましたらお願いしたいと思います。

「はいの声あり」

町 長 齋藤委員さん

齋藤委員 統合による通学路の問題ですが、町長さんはじめ、去年、教育長まで要望に行ってくださいまして、いろいろ暫定的な対策はできたと思いますけれども、将来、津谷木橋自体が古くなった橋ですので、町の交通の重点でもありますし、津谷木橋のところに新たに橋を造るということも、一度、町も検討していただきたいと思います。

町 長 津谷木橋の件ですけれども、何年か前には、あの橋をどっちに架けるか、もっと下に架けるか、どうするか色々あったわけですが、それ以後ずっと立ち消えになっています。それが、小学校の通学路問題であそこが狭いのでという話になって、今、皆さんもご承知のとおり朝などタクシーで対応させていただいているという状況です。ですから、あそこは、将来的には当然、小鹿野影森停車場線という県道ですから秩父県土のほうで、何とか道を改良する時に橋の架け替えをしていただけるようお願いしていきたいと思います。架け替えとなるとお金もかかるし時間もかかるということで、今、そういった話も出ていませんけれども、ぜひ、私たちもその橋については、どういう形でか改良していきたいなと思っています。と申しますのは、皆さんご存知のように、140号の皆野秩父バイパスが蒔田に降りようとしています。再来年4月からだったと思いますけれども、そういう状況ですから、それから小鹿野に向かっての道も当然改良しなければならないわけですし、こちらの道を通る可能性も充分あるわけです。ですから、何とか改良していただけるように、たまたまその期成同盟会を秩父と小鹿野で作っているわけですけれども、秩父はもうよそうと言うような話になったのですけれども、小鹿野はどうしても、まだ残しておいてくれということで期成同盟会を私が会長ということで活動していますから、その期成同盟会と一緒にやっていければなと思いますので、そういうことで進めていきたいと思います。ですから、あそこは、歩道だけでも造れば一番いいのですけれども、歩道を造るだけの橋自体がいい橋でないので、歩道まで造っていただけないかなというふうに思います。しかし、教育委員会としても私にしても、ずっと長い間こうやっていくとなると歩道でも何でも造ってくれということをお願いしないわけにはいかないと思いますので、また、あそこの改良については、私も教育委員会とも議会とも相談しながら進めていきたいと思っていますので、ぜひ、皆さん方にも後押し、バックアップをお願いしたいと思います。

町 長 教育長、今度の要望の関係の予算化になってこういうことはやるという説明は委員の方にしてありますか。

教育長 はい、説明はしてあります。今日もこの後行う予定です。

町 長 改良とかいう大きな工事はやってもらえないということで、安全策だけはやってくれるということらしいです。この関係は、私以上に教育委員会のほうがよく知っていますから説明をお願いします。

「はいの声あり」

町 長 齋藤委員さん

齋藤委員 動いていただくだけでもあり難いことです。全然意見も言わないで滞ってしまうと、日本全国で橋とか古くなっていて、改良できない時代ですので、要望してもなかなかできないので要望し続けることもひとつのことができる一つのアイデアかなと思います。

町 長 今、国のほうでも橋については、長寿命化ということでそういう検査をして、これを百年持たせようというものは補強をしています。町でも毎年、7千万ずつ予算をかけて10橋ぐらいずつ、60いくつある橋を、今、補強をしたり色々しています。私たちの管轄は町道に架かる橋をやっていますから、津谷木橋は県道ですので、県のほうで耐震診断をやったり色々検査もやっているといます。その結果を聞いていないのでよくわかりませんが、当然、いい橋には見えないので、どうにかこれから直していくようなかたちになるのかもしれない。そういったことも県土整備部にも聞きながら、なるべく早く改良できるようにお願いしていきたいと思っています。

高橋委員 橋の架け替えの話というのは。

町 長 以前に橋の架け替えについて、場所等について話題になったことがあったけれども、土地等の関係もあり、それが立ち消えになってしまった。道路を改良しながらそういう架け替えの話があったわけです。それもあるから、今の橋を直してもどうなのかなという気もするわけです。方向性を出さないと、県と町等で方向性を出せば、何とかそれに向かって行けるかなと思っています。

高橋委員 橋の架け替えというのは、なかなか難しい問題ですね。

町 長 津谷木橋は結構古い橋ですよ。町の中では、古いほうの橋だと思います。古い橋だから何とかしていかなければと思っています。

町 長 先ほど、小鹿野町の教育方針について説明がありましたが、質問等ありましたらお願いしたいと思います。

「なしの声あり」

町 長 それでは、質疑もないようでございますので、ここで、お諮りをしたいと思います。平成27年度の小鹿野町の教育方針については、先ほどの説明のとおり決定することよろしいでしょうか。

「異議なしの声あり」

町 長 異議なしと認めます。よって平成27年度の小鹿野町の教育方針については、教育委員会の説明のとおり決定させていただきます。

町 長 続きまして(3)その他についてを議題とします。その他について、事務局でなにか用意してあるものがありましたらお願いしたいと思いません。

「なしの声あり」

町 長 教育委員会もよろしいですか。

「なしの声あり」

町 長 せっかくの機会ですから、どういうことでもよろしいので教育委員さんのほうから何かございましたらお願いしたいと思いません。

町 長 教育長、この会議は年に何回やるものなのか。

教育長 回数については、特に決まりはないのですが、教育委員会からどうしても町長に相談したいこと、あるいは、町長から教育委員会にあるということがあれば開催することになると思いません。

町 長 必要に応じて開催でよろしいですね。

教育長 開催については、総務課長の考えもあると思いませんで、後ほど説明があると思いません。

町 長 総務課長お願いします。

総務課長 できれば、予算査定を行う前にもう一度集まっていたいただいて、教育委員会の予算の伴う考え方、町長の考え等について調整できればと考えております。ですので、次回開催については、教育委員会と相談しながら決めさせていただきたいと思いません。

また、いじめ等の問題で緊急に集まっていたいただく場合もあるかと思いませんので、よろしくお願いします。

町 長 それでは、教育委員会で必要があるときとか、私のほうで相談したい時に開催させていただきたいと思いません。

また、制度が変わって内のほうはほとんど変わっていない状況です。教育長の任期がある限りは、今の体制でいっていただくたわけですのでよろしくお願いします。

町 長 その他について他にありましたらお願いします。

「朝比奈さんという声あり」

町 長 朝比奈さんお願いします。

朝比奈委員 教育振興基本計画、平成27年度の重点施策は、子供たちの将来と町の将来に関わる大事なものだと思います。この計画通りに進めるために、町当局、町民の方の協力が必要だと思います。スムーズに進められるよう、また、願いつつ自分も努力をしたいと思います。
津谷木橋に関して、タクシー通学というのは、臨時的な手段として考えてもらいたいなどいつも思います。恒久的な対策ではないと思います。中学校の統合のこともありますし、中学生もここを経由するわけです。通るたびにいつもここに歩道があればなど思っていますし、心配しています。出来れば、早いうちに橋の架け替えが実現できるようお願いします。

町 長 教育委員会ともよく検討し、早期に実現できるようにしたいなど思っております。しかし、県道ですから町でどうにかというわけにもいかないわけですので、どうにか安全に通学できる方法を考えなくてはいけないわけですので、教育委員会とも相談してまいります。

町 長 他にはいかがですか。
ないようでございますので、以上で本日の総合教育会議の議事を終了させていただきたいと思っております。

町 長 皆さん方にご協力をいただく中で、教育に関する大綱、27年度の教育方針等についても決めていただきありがとうございました。
これからも、子供たちのために皆さん方のお力添えをぜひ賜りますようお願い申し上げます。以上で本会を閉会させていただきたいと思っております。
本日は大変ありがとうございました。

閉会 午後2時40分